

「食糧危機と日本の貧困」

講師：鈴木宣弘

(経歴)

現東京大学大学院農学生命科学研究科教授。

1982 年東京大学農学部農業経済学科卒業後、農林水産省に入省。九州大学大学院教授などを経て、2006 年より現職。コーネル大学客員教授、食料・農業・農村政策審議会委員、経済産業省産業構造審議会委員、国際学会誌 Agribusiness 編集委員などを歴任

(書籍)

2023.7 「マンガでわかる日本の食の危機 迫る飢餓…「質」も「量」も崖っぷちの現実から大切な命を守るために」

2022.11.7 「世界で最初に飢えるのは日本 食の安全をどう守るか」

2021.7.19 「農業消滅：農政の失敗がまねく国家存亡の危機」



講演概要

現在の日本の食糧自給率はカロリーベースで 38 パーセントと著しく低いため国際情勢の変化により食糧危機に陥る危険性や、輸入品の安全性に対する懸念が指摘されています。消費者、とくに貧困の課題を抱える世帯が安価な輸入品に頼らざるをえない現状において、食の安全をいかに守ることができるかお話いただきます。

2023年11月19日(日)10:30～12:00

参加方法: Zoom ウェビナーによる視聴

このイベントは、オンラインのみで行います。参加を希望される方は、当日時間になりましたら、次の URL 又は QR コードからご参加ください。

<https://us06web.zoom.us/j/86094124023?pwd=Y2NiYkIwL2VPbVdBdzNVa3I2YkFzZz09>



主 催：神奈川県弁護士会（企画：貧困問題対策本部）日本弁護士連合会（予定）

問合せ：神奈川県弁護士会 ☎045-211-7705（平日 9～12 時、13～17 時）